

令和6年能登半島地震 DHEAT愛媛県班 輪島市門前地区での活動 (計2班で2/1~2/13支援)

愛媛県今治保健所 岡田 克俊

後方・皆様のサポートについて、この場をかりて深謝いたします

災害時健康危機管理支援チームとは (DHEAT: Disaster Health Emergency Assistance Team)

- 一定規模以上の災害が発生した際に、被災都道府県庁の保健医療福祉調整本部及び保健所が担う指揮・総合調整(マネジメント)機能等を支援するため、専門的な研修・訓練を受けた都道府県等の職員により構成される応援派遣チームです。「DHEAT活動ハンドブック(第2版) 令和5年3月」

活動理念

- 「防ぎ得た死と二次健康被害を最小化すること」
- 「(被災地が)できる限り早く通常の生活を取り戻すこと」

「DHEAT活動ハンドブック(第2版) 令和5年3月」より抜粋2

DHEATの活動の枠組みのポイント

- DHEAT: 公衆衛生分野の専門職及び業務調整員から5名程度で構成
- 活動期間: 災害のフェーズ1からフェーズ3(急性期~避難所生活から仮設住宅入居への移行期にかけて)
 - 発災後から概ね1ヶ月程度
 - 1班あたりの活動期間は1週間資料が標準
 - 活動の引き継ぎにあたっては、支援活動の一貫性と継続性を意識し、十分な時間(1日程資料を確保)
- 活動場所: 被災都道府県庁の保健医療福祉調整本部、保健所、そして保健所の管轄する市町村
- 活動終了の目安: 支援チームの撤退や対策会議開催頻度の減少が挙げられます

「DHEAT活動ハンドブック(第2版) 令和5年3月」より抜粋3

DHEATの活動の具体例(順入替えあり)

- 収集された情報の整理・分析←活動により
- 各種保健医療福祉活動チームの配置等の調整
- 各論的な保健医療福祉活動への助言
- 会議開催のための準備と運営及び記録管理
- 課題対応のためのロードマップ作成と進捗管理
- 本庁から保健所へor保健所から市町村へ出すリエゾン役
- 状況やフェーズによる本部自体の構成や役割分担の整理見直し等
- 保健所支援として市町村本部で活動する場合
 - 戸別訪問の計画支援
 - 通常業務再開へ向けたロードマップの作成支援等

「DHEAT活動ハンドブック(第2版) 令和5年3月」より抜粋4

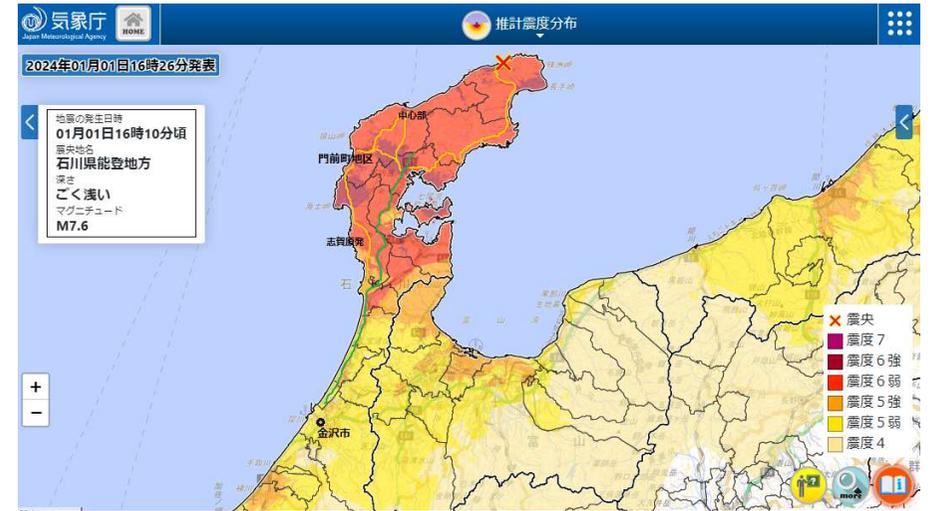
災害のフェーズ

フェーズ 1	初動体制の確立	概ね発災後 2 4 時間以内
フェーズ 2	緊急対応期	概ね発災後 7 2 時間以内
フェーズ 3	応急対応期	避難所対策が中心の期間
フェーズ 4	応急対応期	避難所から仮設住宅入居まで

「DHEAT活動ハンドブック(第2版) 令和5年3月」より抜粋5

令和6年能登半島地震(気象庁)

- 2024年(R6) 1月1日16時10分 震度7 (M7.6)
- 震度7は石川県輪島市門前町走出・羽咋郡志賀町香能



6

令和5年奥能登地震(石川県)

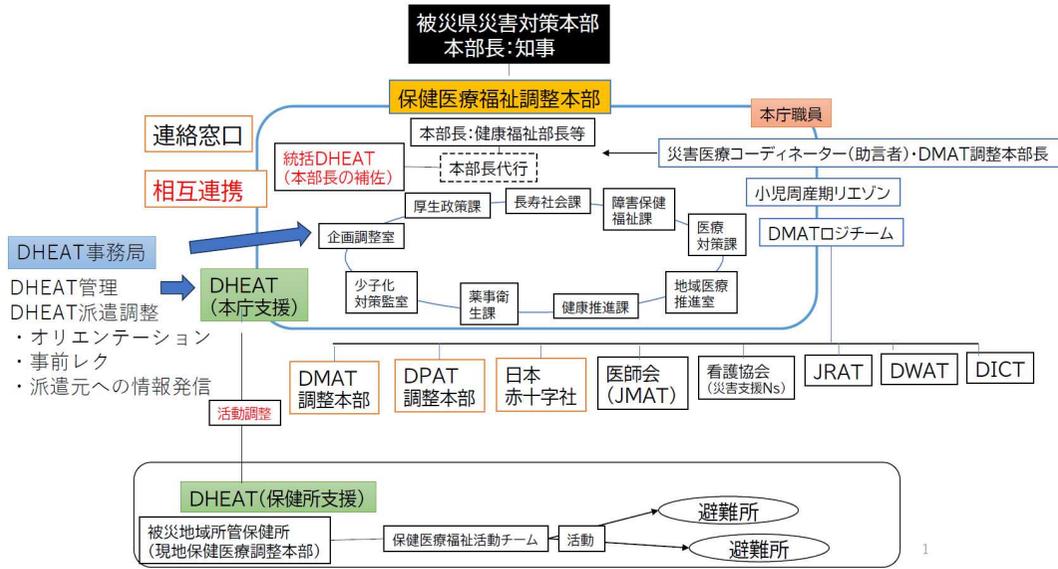
- 2023年(R5) 5月5日16時10分 震度6強 (M6.5)
- 震度6強は石川県珠洲市
- 防災科学技術研究所: 珠洲市狼煙漁港付近で震度7相当と推定



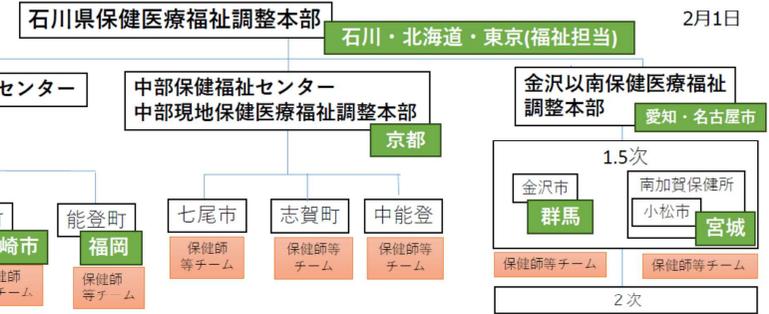
7

8

石川県保健医療福祉調整本部 組織図



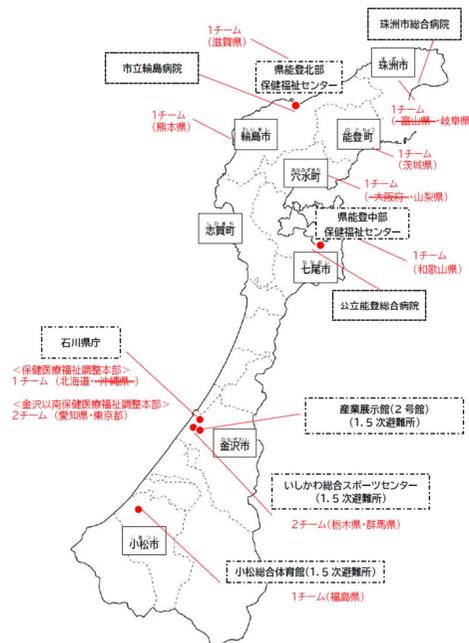
DHEAT体制



支援組織	能登北部保健所				能登中部保健所			1.5次避難所		
	輪島市	珠洲市	穴水町	能登町	七尾市	志賀町	中能登町	金沢市	南加賀保健所 小松市	加賀市
能登北部保健所: 滋賀県	輪島市 保健医療福祉調整本部 (輪島市役所)	珠洲市 保健医療福祉調整本部 (健康増進センター)	穴水町 地域医療救護活動支援室 (保健センター)	能登町 保健医療福祉調整本部 (能登町役場)	能登中部保健センター			能登中部保健所: 京都府		
DHEAT	三重県	富山県	川崎市	福岡県	能登中部保健所: 京都府			群馬県	宮城県	
保健師	11チーム 45人	9チーム 27人	2チーム 15人	5チーム 14人	6チーム 17人	4チーム 14人		6チーム 28人	2チーム 8人	3チーム 10人

第19回 (R6.1.26) DHEAT連絡会資料

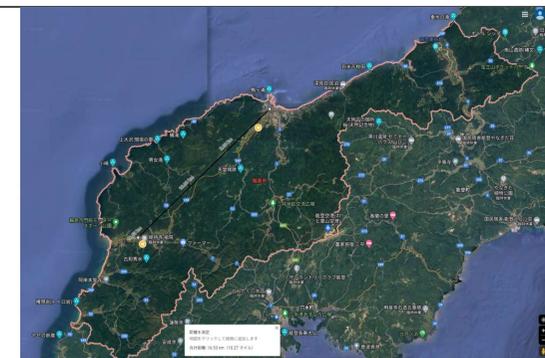
※DHEATの派遣先(1月25日時点)



輪島市門前町

人口は2023/4/1現在, 市HPより

	輪島市門前地区	輪島市輪島地区
歴史	曹洞宗大本山總持寺の門前町、天領も	天堂城・加賀藩郡奉行所(村)
人口	4,742人 (2,563世帯)	18,833人 (8,932世帯)
65歳以上	3,030人63.9%	8,183人43.5%
2005国勢調査	7,522人	25,301人
備考	2006年2月対等合併(町長選までは門前町は穴水町と合併協議) 市全体で外国人住民186人(134世帯)	



町・市の花
雪割草
【花言葉】忍耐

東西約40km

R 6 愛媛DHEATの班構成

- 1班 1/31～2/8 (現地は2/1～7の1週間)
 - 医師1、保健師2、放射線技師1、臨床検査技師1
 - 愛媛からミニバンで往復 (ドライバー3人で2時間ごと交代)
 - 現地の宿の予約は無し
 - 一定量の水・食料持参
- 2班 2/6～2/14 (現地は2/7～13の1週間)
 - 医師1、保健師2、薬剤師1、臨床検査技師1
 - 愛媛からミニバンで往復
 - 現地の宿の予約は無し
 - 一定量の水・食料持参

一班は、コンビニの品物も少ないし...の認識
(実際は地元密着チェーン店にはあったとうわさあり)

愛媛の1, 2班の行動概略

	愛媛1班 (医師1・保健師2・放射線技師1・臨床検査技師1)	愛媛2班 (医師1・保健師2・薬剤師1・臨床検査技師1)
1/31水	愛媛出発、石川県庁説明、金沢泊	
2/1木	現地入り、能登北部保健所で打合せ	
2/2金	DHEAT業務調整 (保健所で打合せ)	
2/3土	門前地区でDHEAT準備、輪島ロジ手伝い	
2/4日	保健師チームから引継ぎ	
2/5月	業務スタート	
2/6火	業務	愛媛出発、金沢泊
2/7水	業務と昼から引継ぎ、金沢泊	現地入り、引継ぎ
2/8木	愛媛帰着	業務
2/9金		業務
2/10土		業務
2/11日		業務
2/12月		業務
2/12火		業務
2/13水		業務と次へ引継ぎ、金沢泊
2/14木		愛媛帰着

1日のスケジュール

8:00	門前地区対策本部会議	保健・医療・福祉班も出席
8:30	能登北部保健所・輪島DHEATミーティング	Zoom
8:45	門前地区保健師ミーティング	
9:00	門前地区保健医療福祉ミーティング	当日いる医療班、福祉班、町・県保健師など
12:30	輪島市保健医療福祉調整本部会議	Zoom
13:30 <small>(2月は偶数日)</small>	石川県保健医療福祉調整本部会議	WebEx
16:30	門前地区保健医療福祉ミーティング	
17:00	能登北部保健所・輪島DHEATミーティング	Zoom
18:00	門前地区対策本部会議	
18:00 <small>火・金</small>	石川県DHEAT保健師・栄養士会議	WebEx
19:00 <small>(2月は奇数日)</small>	石川県DHEAT連絡会議	WebEx

※ミーティング：派遣されてくる班の数の決定などには携わらない

※日中は、データを入力している時間等を除くと、データ整理できる時間は10～12時のみぐらい

避難所の状況(フェーズ1～2)

- 1/3: 輪島中学校の避難所 “食料確保できない状態” 市の職員によりますと、この避難所には3日午前中の時点で1000人ほどの住民が避難しているということです。2日、自衛隊から毛布が届いたということですが、食料を確保することができず、避難してきた人たちに配布できない状態だということです。
- 孫を連れて避難してきた市内の70代の男性は、「食べるものが何もないので、家にあった菓子パンやビスケットを食べて空腹をしのぎました。娘がいる金沢に移動するか、もう一晩ここで過ごすか迷っています」と話していました。
- また、市内の実家に帰省中に地震が発生し、母親と避難してきた40代の男性は、「何日も避難所で過ごしていると腰が痛いし体も冷えるので、下に敷く布団を家から持ってきました。夜の寒さが何よりもつらいので、今はストーブがいちばん欲しいです」と話していました。
- 石川県珠洲市によりますと、3日は石川県から支援物資として1万4000個余りのパンや、250ミリリットル入りのペットボトルの飲料水3600本、それに1万4000個余りの簡易トイレが届き、市内の避難所などに配っているということです。また、仮設トイレも3日中に30基届くとしています。

避難所の状況(フェーズ2~3)

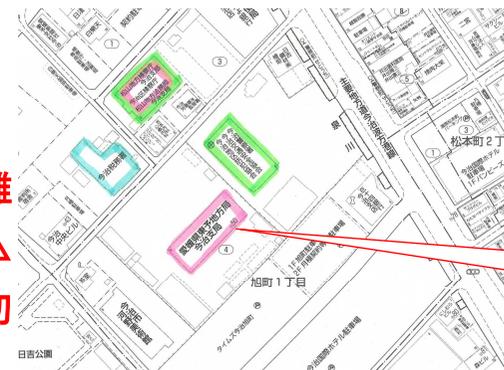
- 1/5: 5日午前10時から開かれた石川県の災害対策本部会議で、被災地の自治体からは**避難所でインフルエンザや新型コロナの感染者が増えている**ことが報告され、看護師や保健師の支援を求める声が相次ぎました。これを受けて馳知事は「一刻も早くインフラを確保するとともに、避難所での生活支援に最大限に対応する必要がある」と述べ、避難所の環境改善に取り組むとともに、お年寄りなど配慮が必要な人のための二次避難所や仮設住宅の設置を急ぐよう指示しました。
- また、県内5つの市と町の33の地区で**少なくとも840人余りが孤立**した状態になっている
- 1/7: 今回の地震で多くの人が避難生活を送る中、感染症の専門家で作る学会の支援チームが石川県七尾市の**避難所などをまわり、感染症対策**について助言するなどの支援を行っています。支援を行っているのは感染症対策を専門とする医師や看護師、それに薬剤師などで作る日本環境感染学会の**DICT=災害時感染制御支援チーム**です。加来教授は「今回見た避難所は学校でベテランの**看護師さんも配置**されていて、うまく運営されているように感じた。」

第19回 (R6.1.26) DHEAT連絡会資料改編 避難所外被災者訪問

- どのような対象を優先すべきか?
 - 介護予防・日常生活支援総合事業対象者(≒在宅に残っている人のリスト、配食サービス利用者リストの提供)
 - 福祉マップの提供(民生委員により平時にチェックされた世帯、1,587軒)
 - > 要配慮者は4つに分類: 65歳以上、障がい者、要見守り、不在
 - 要支援者リストの提供(5,372名)
 - 1.5次・2次避難者リストの提供
- 提供された福祉マップからリスト作成(780軒)→進捗 要配慮者のうち93%(残りは訪問したが不在)、要支援者は8名

避難行動要支援者宅?

マップ→リスト 難
リスト→マップ △
※平時に準備が大切



軒単位?

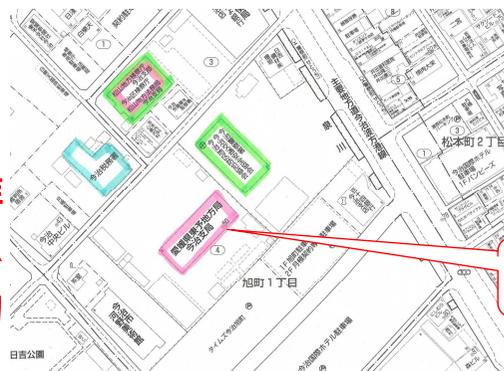
個人でなく屋号や表札
→リスト化は軒単位
(どこかで個人単位の展開必要?)

第19回 (R6.1.26) DHEAT連絡会資料改編 避難所外被災者訪問

- どのような対象を優先すべきか?
 - 介護予防・日常生活支援総合事業対象者(≒在宅に残っている人のリスト、配食サービス利用者リストの提供)
 - 福祉マップの提供(民生委員により平時にチェックされた世帯、1,587軒)
 - > 要配慮者は4つに分類: 65歳以上、障がい者、要見守り、不在
 - 要支援者リストの提供(5,372名)
 - 1.5次・2次避難者リストの提供
- 提供された福祉マップからリスト作成(780軒)→進捗 要配慮者のうち93%(残りは訪問したが不在)、要支援者は8名

避難行動要支援者宅?

マップ→リスト 難
リスト→マップ △
※平時に準備が大切



軒単位?

個人でなく屋号や表札
→リスト化は軒単位
(どこかで個人単位の展開必要?)

避難所と住民との関係のイメージ

避難所避難者リスト上の人数 ※数字はイメージのため実際と異なる

75歳以上 ... 408人

うち台帳にある人... 205人 → このうち49人は自宅等へ退所

203人は何者?

発災のタイミングにより
把握困難例(住民でない者)多発

住民台帳上の人数(〇〇地区)

75歳以上 ... 1421人

おそらく $1421 - 205 + 49 = 1265$ 人... 避難所以外

<75歳以上+75歳未満の手帳所持者>の場合

住民台帳上の人数 1607人

避難所にいる人 299人 - 74人(自宅等へ退所した人)

自宅?
福祉避難所?
施設・医療機関?
市外?

県外避難者（フェーズ3～4）

- 2/8：能登半島地震で被災して石川県などからほかの都道府県へ避難したり避難することが決まったりしている人は、自治体が把握しているだけで全国30の都道府県で937人に上ることがNHKのまとめでわかりました。もとの自治体からの支援に関する情報が乏しく不安を訴える被災者もいて、専門家は「自治体間で情報を共有する体制作りを急ぐべきだ」と指摘しています。
- 2011年の東日本大震災後、国は被災者に関する情報を自治体内で一元的に管理する「被災者台帳」の作成が有効だとして2013年に災害対策基本法を改正し、台帳の情報を避難元と避難先などの自治体間で共有できることを定めました。
- 今回の能登半島地震で、石川県は市や町が把握しきれていない避難者の連絡先などの情報を把握し、公的なサービスにつなげるため、情報登録窓口を設けてLINEや電話での登録を呼びかけています。7日の時点で1万2777人が登録していますが、住所欄が記述式で避難者の情報を都道府県別に仕分けするのに時間がかかっているほか、把握できていない被災者が多くいるとみられています。
- こうした中、内閣府は7日、石川県に事務連絡を出し、自宅や県外も含め広域に避難している被災者の情報について自治体とも共有した上で、居場所や状況の把握を進めるよう依頼しました。そして被災者一人ひとりに寄り添った支援を漏れなく行うためには、「被災者台帳」へ情報を集約することが不可欠だとして、被災自治体が台帳の作成を積極的に検討するよう改めて促しています。

44

医療機関の状況（フェーズ1）

- 1/1：珠洲市総合病院「けが人相次ぎ医師足りていない」。同院の医師は「地震でけがをした患者が相次いで運ばれてきていて順次受け入れを進めている。地震の影響で道路の状態が悪くなっていて病院に到着できない医師もいて、人数が足りていない。また、病院は電気が止まってしまい予備の電源で対応している」と話していました。
- 1/1：市立輪島病院の担当者によりますと、病院には骨折したり、落ちてきたもので頭をけがしたりした人が複数、搬送されているということです。現在、電気が止まっていて、自家発電で患者への対応を行っているということです。また、病院の敷地内にある駐車場では、救急の患者への対応も行っているということです。
- 1/1：介護医療院の「恵寿鳩ヶ丘」（穴水町）の職員によりますと、たんの吸引や酸素ボンベが必要な高齢者など、およそ120人が利用していて、全員が院内にとどまっているということです。地震のあと、停電が起きたため非常用の自家発電機を使って電気をまかなっているということです。発電に必要な軽油は2日朝にはなくなるおそれがあり、電気が復旧しなければ、たんの吸引などが行えなくなるということです。

48

医療機関の状況（フェーズ2～3）

- 1/12：輪島市山岸町の「市立輪島病院」は、地震直後はけが人の対応を優先していましたが、今は感染症の患者を中心に診療にあたっています。病院を訪れた患者のうち、発熱などの症状を訴えた人は、10日は15人ほどでしたが、11日はおよそ70人にまで増えていて、新型コロナやノロウイルス、それにインフルエンザの患者が多いということです。また、12日の時点で入院患者はおよそ40人いて、その半数が感染症の患者だということです。
- 1/22：輪島市中心部の山岸町にある「市立輪島病院」は地震で設備が被害を受けたほか、一部の職員が出勤できなくなり救急患者を除いて外来患者の受け付けを休止していました。病院によりますと、現在も設備は復旧せず、人員不足が続いているということです。市内では活動できない医療機関が多いため、22日から午前中のみ、一部の科で外来患者への診療を再開することになりました。診療が再開されたのは、内科、外科、整形外科、小児科、泌尿器科、耳鼻咽喉科の6つの科で、そのほかについては当面、休診が続くということです。

49

医療機関の状況（フェーズ2～3）

- 1/23：今回の地震で被災した石川県内の医療機関の多くは、発生から3週間余りがたった現在も診療や患者の受け入れが難しくなっています。建物が被害を受けた石川県輪島市のクリニックでは、借り受けた医療用の車両を活用して、臨時的「診療所」を開設し被災した人たちの診療に当たっています。輪島市の医師、小浦友行さんは、市中心部の「朝市通り」の近くでクリニックを経営していますが、地震によって入り口の天井に穴が開くなどの被害があったため安全が確認されるまで、建物の中で診療することができずにいます。

50

福祉施設の状況(フェーズ1)

- 1/1: 高齢者施設の「エレガテなぎの浦」(七尾市)の職員によりますと、施設内には**入所者や職員などあわせて150人以上がとどまっている**ということです。午後7時現在、**水道が止まって**いて建物の壁にひびが入ったりものが散乱したりしたものの、けが人はいないということです。**食料の備蓄はわずかしかな**いということです。担当者は「この先、どのくらい避難生活が続くか不安だ」と話していました。
- 1/3: 穴水町にあるグループホーム「ふきのとう」の避難所では、およそ**20人の入所者**のほか、避難して来た**住民およそ30人**が滞在しているということです。この避難所にいる近くに住む女性によりますと、この避難所では**電気が使えるので入所している高齢者などの暖をとることができている**ということです。しかし、ここでも**飲み水**やトイレを流すための水が**不足**していて、給水などの支援を待っているということです。

51

福祉施設の状況(フェーズ2~3)

- 1/5: 依然、**連絡が取れていない施設もあり**、高齢者施設は3施設、障害者施設は2施設で被害や利用者の状況が把握できていないということです。厚生労働省は「必ずしもすべての施設が危険な状況にあるわけではないと思うが、県などととも早急に確認を進めたい」としています。
- NHKは5日午後、輪島市や珠洲市、七尾市など能登半島の7つの市と町にある高齢者施設のうち合わせて**58の施設に電話で取材**しました。その結果、電話しても呼び出し音が鳴らない状態で通じず、**連絡がとれない施設が珠洲市を中心に29**にのぼっています。多くの施設で物資の支援が届いておらず、尿取りパッドやおしりふきなどの**衛生用品や、食料品、使い捨ての食器なども不足**しているということです。施設の中には、地域の高齢者や障害者などを受け入れる**福祉避難所として指定**されているところもありますが、**多くの施設で受け入れはできていませんでした**。
- 輪島市気勝平町にある介護老人保健施設「百寿苑」では、100人ほどいる**職員もほとんどが被災し避難所から通う人や施設で寝泊まりする人も多く職員の疲労もたまって**きているということです。この高齢者施設は、災害時に高齢者などの特に配慮が必要な人を受け入れる「福祉避難所」に指定されていますが、断水が続いているほか被災して施設に来ることができない職員もいるため、近隣からの避難者の受け入れは断らざるをえない状況だと言います。船本貴宏副施設長は「断水が続き入所者の感染症などが心配な状況が続いている。支援物資は少しずつ増えているが、**職員の多くが被災して仕事に来られない人もいて、自分たちだけでも精いっぱい**だ」と話していました。

52

地理院地図 例: 鶴岳 / 金沢市木ノ新保町 / 35度0分0秒 135度0分0秒 / 35.00 135.00 / 54SUE83694920

医療施設・福祉施設の位置と現況



3. 取り残される福祉 (高齢者・福祉施設)

- 建物そのものの被害は軽微
 - この段階では施設内に留まることも可能と考えても不思議ではない
 - 職員も被災
 - インフラ復旧が遅延(電気・通信は早かったが水道が月余)
 - 清潔維持・食事等に大量に水が必要(建物に30tタンク等)
 - 職員も自宅での生活がままならない→避難他で出勤者減
- 福祉避難所としても受入れ依頼**
 - 入所者+避難者への対応が必要となる=必要なスタッフ数up
- 病院・施設の避難の推進(県・市)**
 - 経営上の問題?・障害者(児)の特性?で避難しなかった施設あり
 - 市内の入所系高齢者施設13中、避難しなかったのは4施設(〇〇地区のみ)
- 避難先施設・二次避難所が満杯に(県外避難の調整難)
- 病院・施設の避難推進から籠城に転進**
 - ヒト・モノのケアが今まで以上に急務…毎日10tの水供与開始中
 - 施設側のヒトの要望?(派遣旅費の補助あるが、人件費は施設側)
 - 看護師・介護士以外でもできる仕事の切り分け、チルド品などの活用
- 色々な錯綜があるなかで、入所している人が取り残されたまま

避難所に回らない水

59

2次避難(フェーズ2~3)

- 1/12: 岸田総理大臣は11日夜、記者会見で被災地の現状をめぐり「インフラの復旧や住まいの確保にかなりの時間がかかるので、命と健康を守るためにも、より安全な環境への移動を積極的に検討してもらうことが重要だ」と述べました。
- 政府は、災害関連死を防ぐためにも、1人でも多くの被災者に自治体が「みなし避難所」として借り上げた宿泊施設など、安全に過ごせる2次避難所に移ってもらいたい考えです。一方で、住み慣れた地域を離れることに不安を持つ人もいるとして、避難先の情報や2次避難の仕組み、さらに今後の住まいの見通しも丁寧に説明して移動を促していく方針です。
- 病気や障害のある人、高齢者や妊婦など、特に配慮が必要な人とその家族から優先的に移ってもらう計画で、**すでに1万人分の2次避難所を確保**したとしています。また、バスや福祉車両など、移動手段の手配も進めています。
- こうした対応とあわせて、政府は、2次避難の期間をできるだけ短くできるように、復旧作業や仮設住宅の建設にも全力を挙げることにしています。

61

今回、新たに表面化した課題

- 今までなぜ問題となりにくかった部分が表面化?
 - 避難所での期間がトータルでは短かった
 - 発災直後には多数の避難者がいても、1週間程度すると避難所に残る者は比較的少数
 - ✓ データ管理しなくても、人間が紙で把握できるレベル
 - ✓ 大多数の者にとって、複数回のアプローチは限定的であった
 - 在宅の被災者は区分が固定的で分かりやすい
 - ✓ 特にインフラが早めに回復すると、要支援者=社会的弱者と一致しがち(そもそもフォローしている対象)
 - ほぼ住民しかいなかった
 - 今回は、正月というタイミングで住民外も多数いた
 - ✓ どこから来て、どこに行ったのか?
 - 名簿、避難者数の混乱(動ける人なので、フォローの必要な人は少ないとは思われるが…)
- IT化・WEB利用が非常に進んだが?
 - Zoom、WebEx、Googleドライブ…、J-SPEED、D24H、EMIS(避難所はD24H?)
 - セキュリティをどう確保していくか
 - 電子化すべき情報の取捨選択
 - 意外に少数の時には正の字を書く的な集計をしまっている→一瞬見栄えがよい感じで時点修正をやりがち
 - 50件…すぐできる、200件…夜更かしすればできる、500件…そろそろ破綻する
 - エクセルで作った帳票がエクセルとして使えない(単なるワープロもどき)

1人1イベント
訪問でお会いする
ローラー作成で確認
↓
対象者が絞られるから
問題にならなかった

63